

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【公開番号】特開2016-178384(P2016-178384A)
 【公開日】平成28年10月6日 (2016.10.6)
 【年通号数】公開・登録公報2016-058
 【出願番号】特願2015-55352(P2015-55352)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 11/00 (2006.01)
 H 0 4 N 5/225 (2006.01)
 H 0 4 M 1/00 (2006.01)
 H 0 4 W 84/18 (2009.01)
 H 0 4 W 92/18 (2009.01)
 H 0 4 W 52/02 (2009.01)
 H 0 4 W 4/06 (2009.01)

【F I】

H 0 4 M 11/00 3 0 2
 H 0 4 N 5/225 F
 H 0 4 M 1/00 R
 H 0 4 W 84/18
 H 0 4 W 92/18
 H 0 4 W 52/02 1 1 0
 H 0 4 W 4/06

【手続補正書】
 【提出日】平成30年3月8日 (2018.3.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

通信装置であって、
複数の他の通信装置が参加する通信グループにおいて通信可能な期間が開始されるタイミングを、
所定の期間に前記通信装置によって受信されたビーコン信号に基づいて検出する検出手段と、
前記検出手段によって検出されたタイミングに従って、情報の取得を要求する信号を、
前記複数の他の通信装置に対して送信する送信手段と、
前記信号が送信された場合、前記複数の他の通信装置のそれぞれから情報を取得する取得手段と、
前記取得手段によって取得された情報に基づいて表示を制御する表示制御手段と、
を有することを特徴とする通信装置。

【請求項 2】
複数の通信グループのうちのいずれかの通信グループを特定する特定手段をさらに有し、
前記送信手段は、前記特定手段によって特定された通信グループに対応する期間において、当該通信グループに参加している複数の他の通信装置へ前記信号を送信する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記送信手段は、前記検出手段によって検出されたタイミングに従ってビーコン信号を送信する、

ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

複数の通信グループのうちのいずれかを選択する選択手段をさらに有し、

前記送信手段は、さらに、前記選択手段によって選択された通信グループに対応する期間に従って、ビーコン信号を送信する、

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記選択手段は、複数の通信グループのそれぞれに参加している他の通信装置の数に応じて、通信グループを選択する、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記選択手段は、所定のサービスに対応している複数の他の通信装置のうちの、同じ通信グループに参加している他の通信装置の数に応じて、通信グループを選択する、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記選択手段は、取得された画像の被写体に対応すると共に前記所定のサービスに対応している複数の他の通信装置のうちの、同じ通信グループに参加している他の通信装置の数に応じて、前記通信グループを選択する、

ことを特徴とする請求項 6 に記載の通信装置。

【請求項 8】

前記選択手段は、複数の通信グループのそれぞれにおいて通信可能な期間の長さに応じて、通信グループを選択する、

ことを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 9】

前記選択手段は、通信グループを選択した後に、前記通信装置のバッテリーの残量に応じて又は周期的に通信グループを再び選択する、

ことを特徴とする請求項 4 から 8 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 10】

前記送信手段は、IEEE 802.11 規格において既定されたフレームを用いて、前記信号を送信することを特徴とする請求項 1 から 9 のいずれか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 11】

通信装置の制御方法であって、

検出手段が、複数の他の通信装置が参加する通信グループにおいて通信可能な期間が開始されるタイミングを、所定の期間に前記通信装置によって受信されたビーコン信号に基づいて検出する検出工程と、

送信手段が、前記検出工程において検出されたタイミングに従って、情報の取得を要求する信号を、前記複数の他の通信装置に対して送信する送信工程と、

取得手段が、前記信号が送信された場合、前記複数の他の通信装置のそれぞれから情報を取得する取得工程と、

表示制御手段が、前記取得工程において取得された情報に基づいて表示を制御する表示制御工程と、

を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 12】

請求項 1 から 10 の何れか 1 項に記載された通信装置としてコンピュータを動作させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記目的を達成するため、本発明による通信装置は、複数の他の通信装置が参加する通信グループにおいて通信可能な期間が開始されるタイミングを、所定の期間に前記通信装置によって受信されたビーコン信号に基づいて検出する検出手段と、前記検出手段によって検出されたタイミングに従って、情報の取得を要求する信号を、前記複数の他の通信装置に対して送信する送信手段と、前記信号が送信された場合、前記複数の他の通信装置のそれぞれから情報を取得する取得手段と、前記取得手段によって取得された情報に基づいて表示を制御する表示制御手段と、を有する。